

# 北斗市起業化支援補助金の検証

## 1 沿 革

平成 15 年度に旧上磯町で制度創設。合併後、現在の制度として引き継いだもの。

## 2 実 績

応募件数：15 件 (H17：5 件、H18：3 件、H19：3 件、H20：3 件、H22：1 件)

認定件数：9 件 (H17：1 件、H18：1 件、H19：3 件、H20：3 件、H22：1 件)

補助件数：5 件 (H17：1 件、H18：1 件、H20：2 件、H22：1 件)

補助金の額：総額 6,000 千円 (H17：2,000 千円(1 件)、H18：1,000 千円(1 件)、  
H20：2,000 千円(2 件)、H22：1,000 千円(1 件))

※別紙参照

## 3 函館市との比較

函館市の「チャレンジ補助金」とほぼ同制度であるが、助成金額について、北斗市は 1,000 千円、2,000 千円、3,000 千円、4,000 千円、5,000 千円の 5 段階で助成、函館市は 1,000 千円、2,000 千円、5,000 千円の 3 段階で助成していること。

## 4 検 証

### (1) 事務作業

- ・事務作業としては募集→計画書の精査→プレゼンテーションの開催→審査会の開催→認定（不認定）→申請書の精査→補助金の交付→実績報告書の精査と煩雑であること。
- ・補助金の交付後、5 カ年は経営状況を把握しなければならないこと。
- ・計画書提出前の事前相談件数は多数あり。（平成 24 年度は現在まで 4 件）

### (2) 費用対効果

- ・助成事業の性質上、助成額に対する見返り（法人税、固定資産税、経済効果等）の期待感は薄いものと考えていること。

### (3) 今後の方向性

- ・「農楽」（佐々木氏）のワイナリーが 5～6 年後に計画されており、政策的にも廃止は困難と考えていること。
- ・現在の制度を見直すことも想定されるが、新規性・創意性の趣旨から、企業の業種や事業の内容を限定することはできないこと。
- ・以上のことから、北海道新幹線の開業も勘案し、現状制度を当面維持することが望ましいと考えていること。